

## 25年1～3月期のユーロ圏経済 は前期比+0.4%の成長



### 欧州経済

- 2025年1～3月期のユーロ圏実質GDP（域内総生産）は前期比+0.4%と、24年10～12月期の同+0.2%から伸びが高まった。
- 4月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は50.4（前月は50.9）と、5か月ぶりの低下となった。
- 4月のユーロ圏消費者物価指数は前年比+2.2%と、3月と同じ伸びとなった。一方、エネルギーや食品などを除いたコア指数は同+2.7%と前月（同+2.4%）と比べて伸びが高まった。
- 欧州中央銀行（ECB）は4月17日の理事会で、主要政策金利の中銀預金金利を2.5%から2.25%に引き下げることを決めた。利下げは昨年9月から6会合連続で、今回の利下げ局面では7回目（合計の利下げ幅は1.75%）となった。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取り扱いいただきますようお願いいたします。



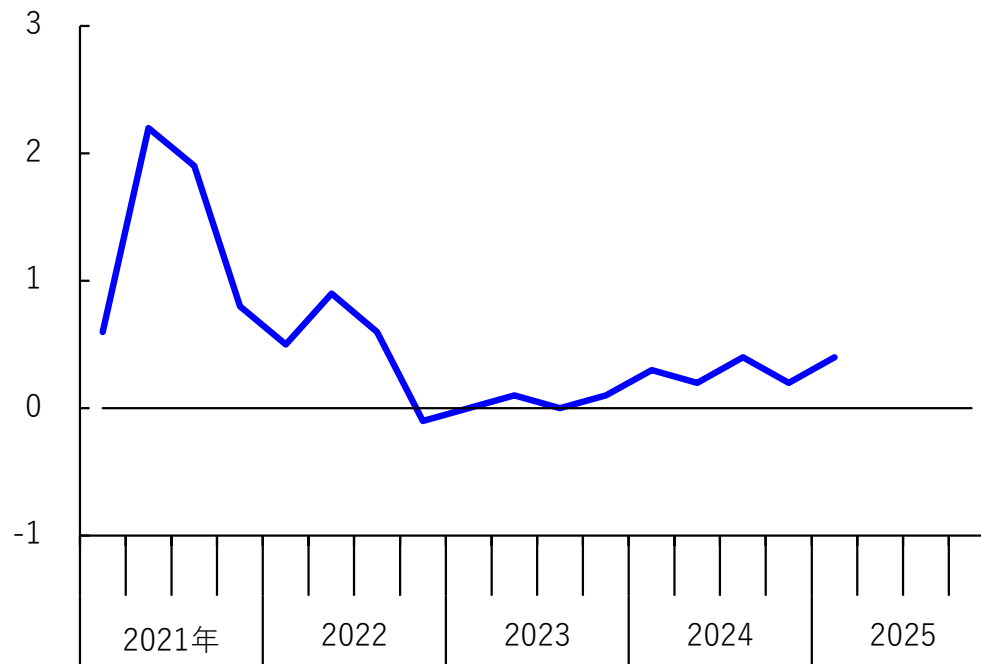
## 25年1～3月期の実質GDPは前期比+0.4%と伸びが高まる



- 2025年1～3月期のユーロ圏実質GDP（域内総生産）は前期比+0.4%と、24年10～12月期の同+0.2%から伸びが高まった。
- 各国別ではドイツが前期比+0.2%、フランスが同+0.1%と、いずれもプラス成長に転じた。また、イタリアは同+0.3%と2期連続のプラス成長。スペインは同+0.6%と堅調に推移。

ユーロ圏実質GDP

前期比、% 季調済



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏主要国の実質GDP

季調済、前期比、%

|      | 2024年 |      |        | 25年  |
|------|-------|------|--------|------|
|      | 4-6月  | 7-9月 | 10-12月 | 1-3月 |
| ユーロ圏 | 0.2   | 0.4  | 0.2    | 0.4  |
| ドイツ  | ▲ 0.3 | 0.1  | ▲ 0.2  | 0.2  |
| フランス | 0.3   | 0.4  | ▲ 0.1  | 0.1  |
| イタリア | 0.2   | 0.0  | 0.2    | 0.3  |
| スペイン | 0.8   | 0.7  | 0.7    | 0.6  |

注:2025年1～3月期は速報値。

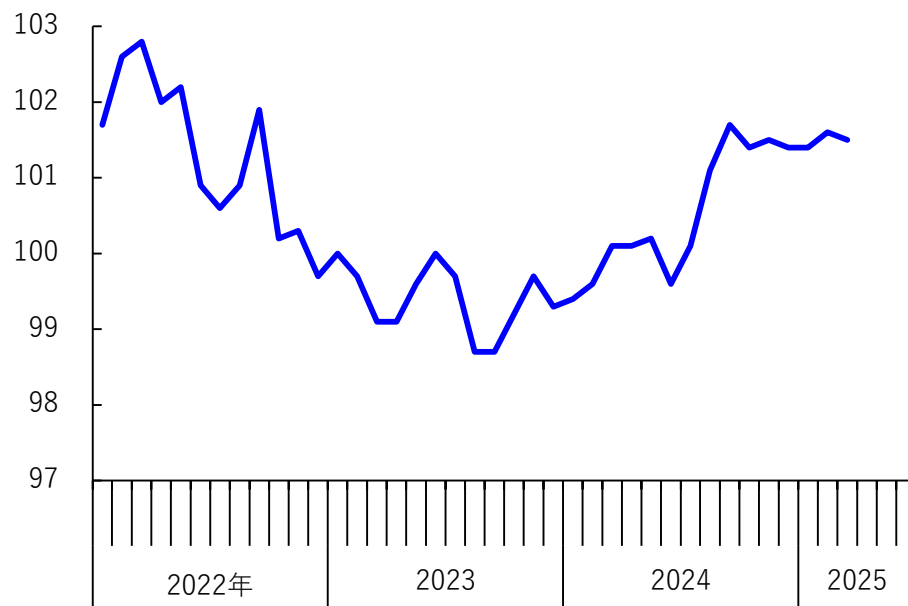
出所：欧州委員会統計局

3月のユーロ圏小売売上高指数  
は3か月ぶりに低下

- 25年3月のユーロ圏小売売上高指数は前月比-0.1%と3か月ぶりに低下した。
  - ー自動車燃料が前月比+0.4%と3か月連続で上昇したものの、食品・飲料・たばこが同-0.1%、非食料品（除く自動車燃料）が同-0.1%と、いずれも低下に転じた。
- 4月のユーロ圏消費者信頼感指数は-16.7と、2か月連続で低下（悪化）した。
  - ー国別には、ドイツやフランス、イタリアなどの消費者信頼感指数が低下した。

ユーロ圏小売売上高指数

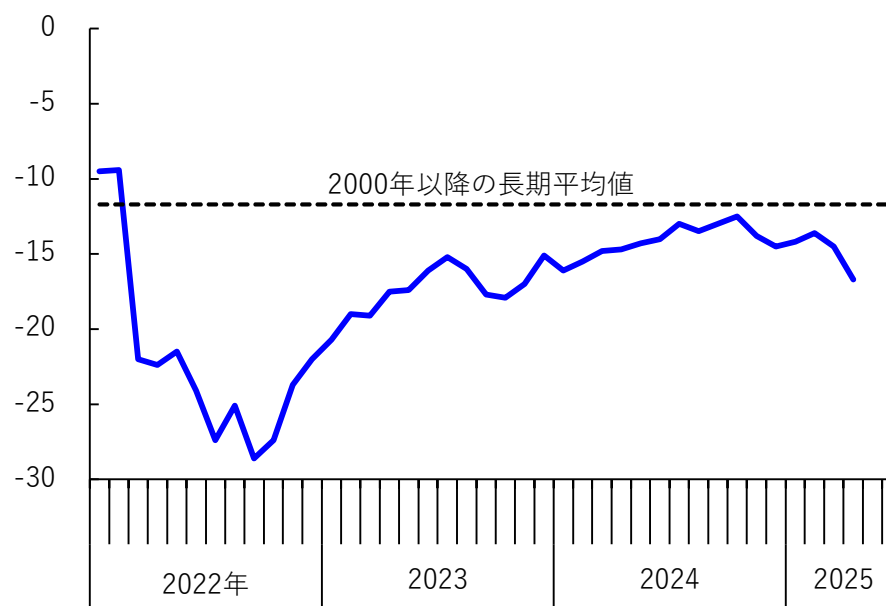
2021年=100、季調済



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏消費者信頼感指数

ポイント、季調済



出所：欧州委員会

## 2月の鉱工業生産指数は2か月連続で上昇

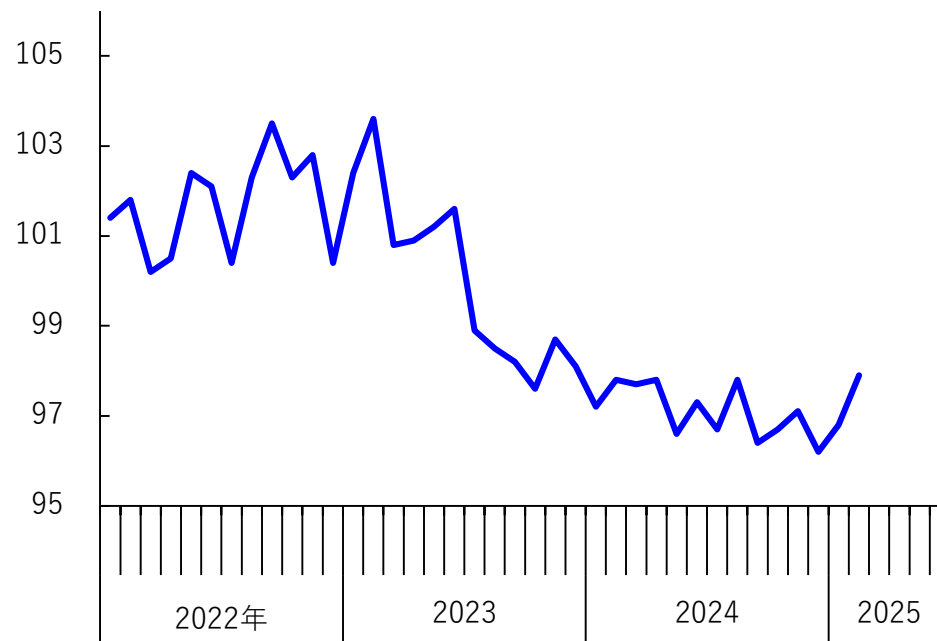


鉱工業・  
建設業

- 25年2月のユーロ圏鉱工業生産指数は前月比+1.1%と2か月連続で上昇した。財別にみると、耐久消費財（前月比-0.3%）やエネルギー（同-0.2%）の生産指数が2か月連続で低下する一方で、非耐久消費財（同+2.8%）や資本財（同+0.8%）の生産指数が上昇に転じた。  
 ー国別には、ドイツが前月比-0.9%と低下に転じたものの、フランスが同+0.7%と上昇に転じた。またアイルランドも同+10.8%と大幅な上昇に転じた。
- 2月のユーロ圏建設活動指数は前月比-0.5%と5か月ぶりに低下した。  
 ー国別にはフランスが前月比+1.5%と上昇に転じたものの、ドイツが同-3.2%と大幅な低下に転じた。

ユーロ圏鉱工業生産指数

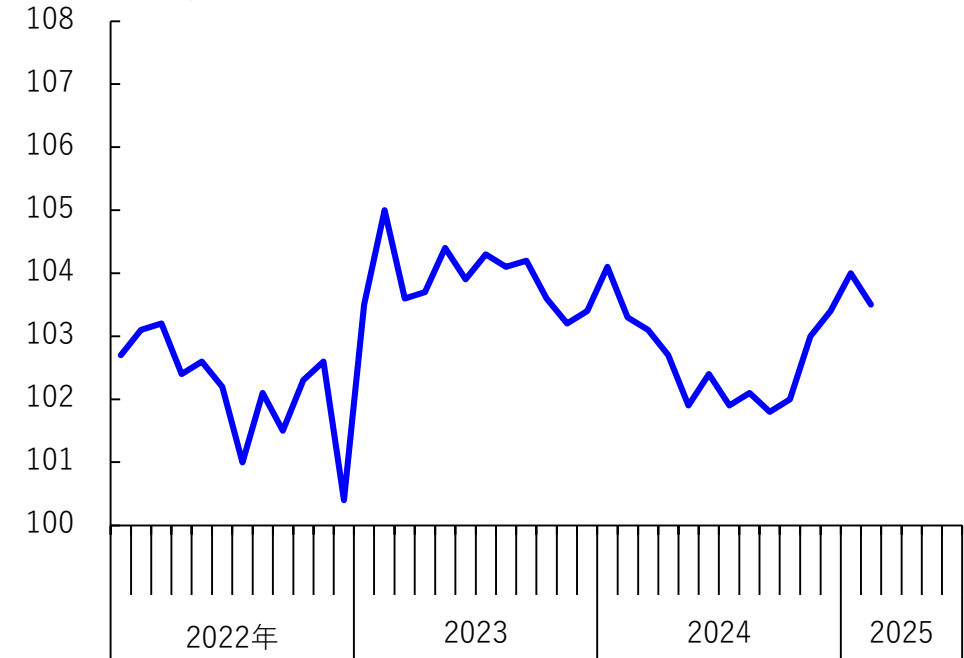
2021年=100、季調済



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏建設活動指数

2021年=100、季調済



出所：欧州委員会統計局

## 4月の消費者物価は3月と同じ伸び

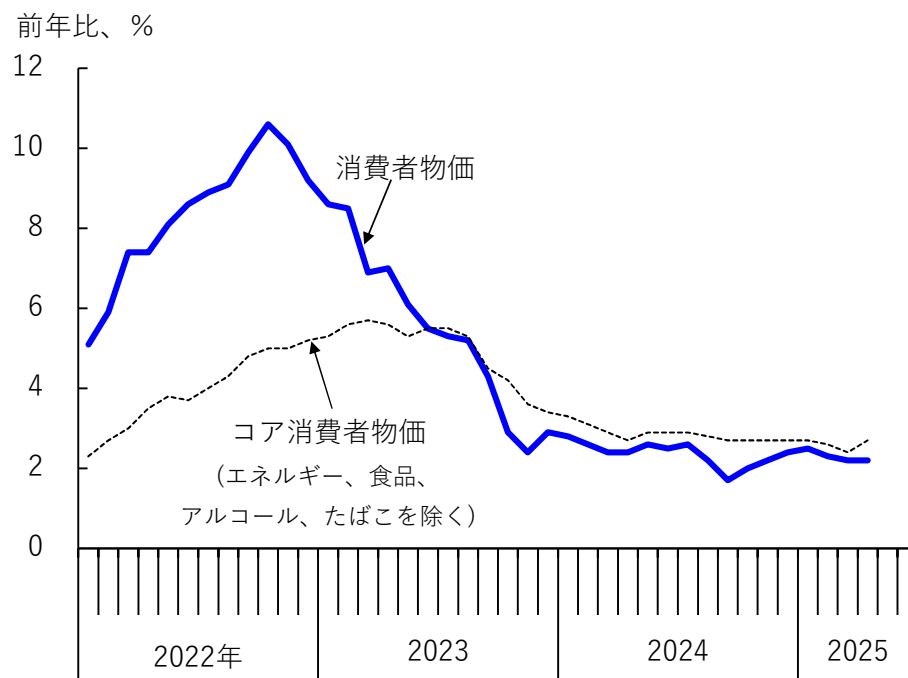


- 25年4月のユーロ圏消費者物価指数（速報値）は前年比+2.2%と、3月と同じ伸びとなった。一方、エネルギー、食品、アルコール、たばこを除くコア指数は同+2.7%と前月（同+2.4%）と比べて伸びが高まった。

－品目別には、エネルギーが前年比-3.5%と大幅に低下した。一方、飲食料（アルコール含む）は同+3.0%と前月（同+2.9%）と比べて伸びがやや高まった。

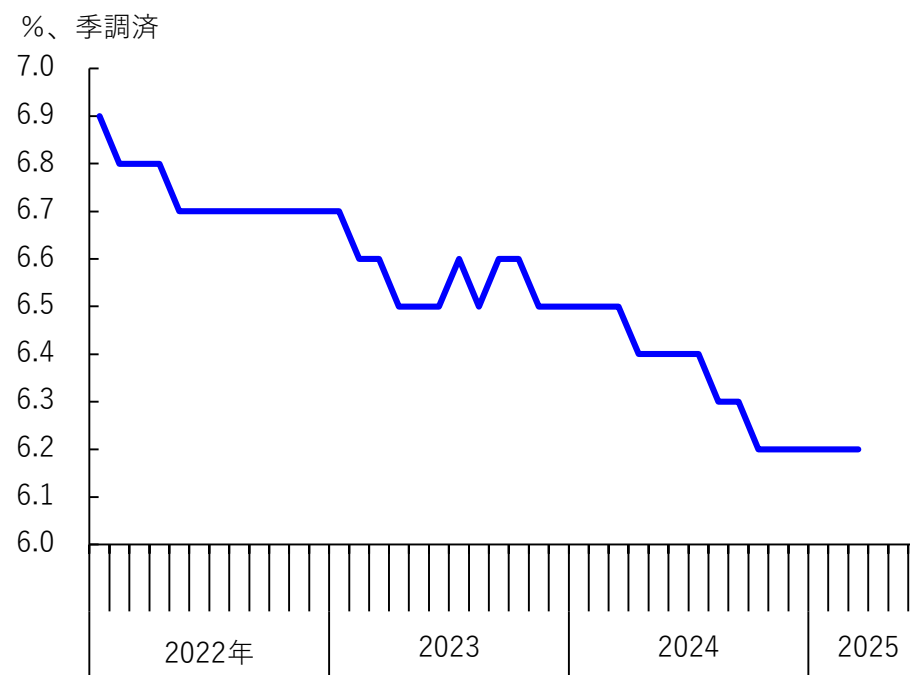
- 3月のユーロ圏の失業率は6.2%と、4か月連続で横ばい。

ユーロ圏消費者物価指数



注:2025年4月は速報値。  
出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏失業率



出所：欧州委員会統計局

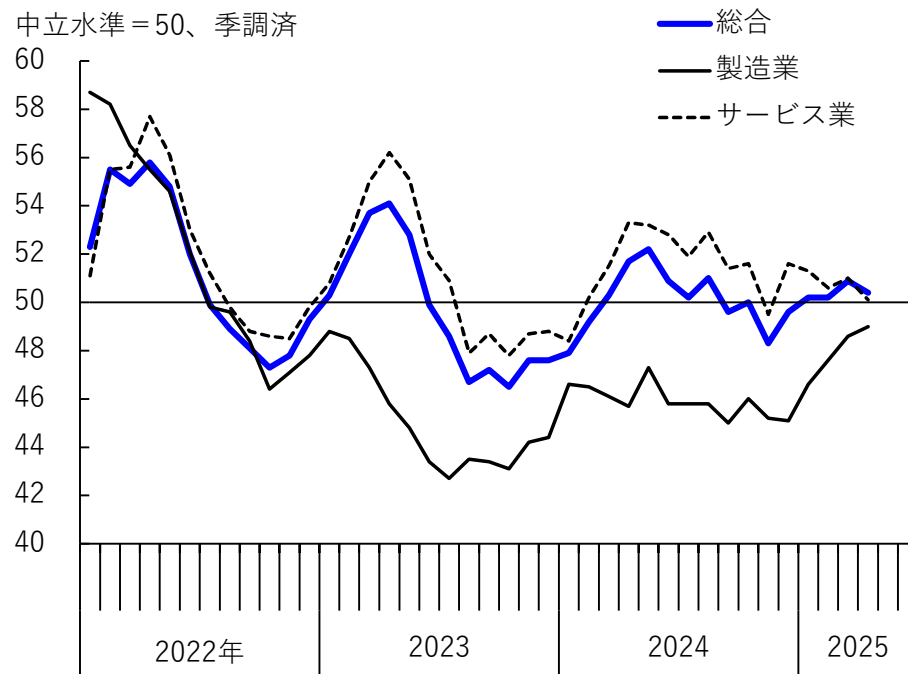


4月のユーロ圏総合PMIは  
5か月ぶりに低下

- 25年4月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は50.4（前月は50.9）と、5か月ぶりの低下となった。業種別には、製造業が49.0と前月（48.6）から小幅に上昇する一方で、サービス業が50.1と前月（51.0）から低下した。
- 4月の各国別の総合PMIをみると、ドイツが50.1と前月（51.3）から大幅に低下した。またフランスも47.8と前月（48.0）から小幅に低下した。

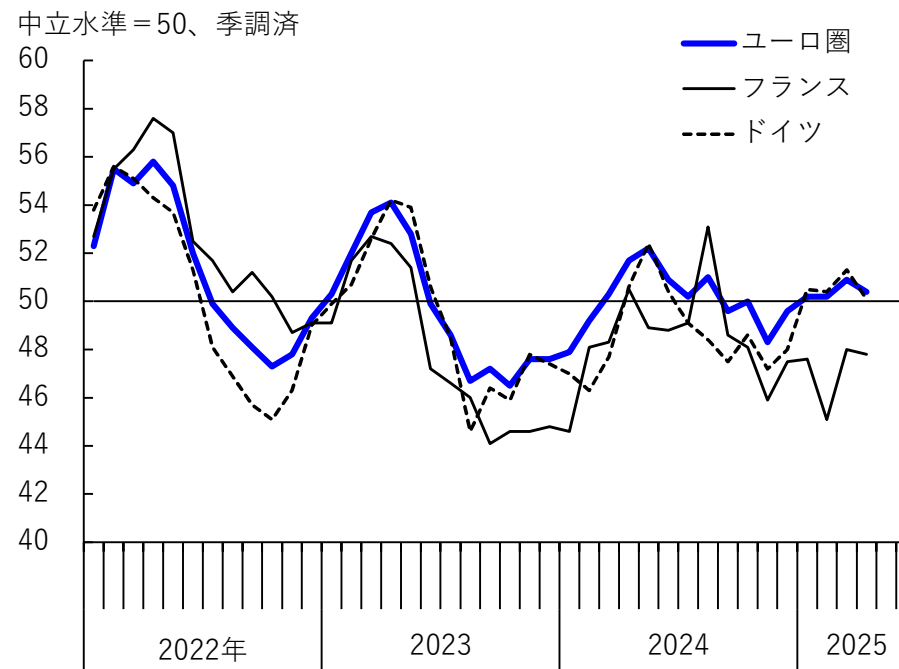
※ユーロ圏PMIの正式名称は、HCOB（ハンブルク商業銀行）ユーロ圏PMI。

ユーロ圏のPMI



出所：S&P グローバル

主要国のHCOB総合PMI

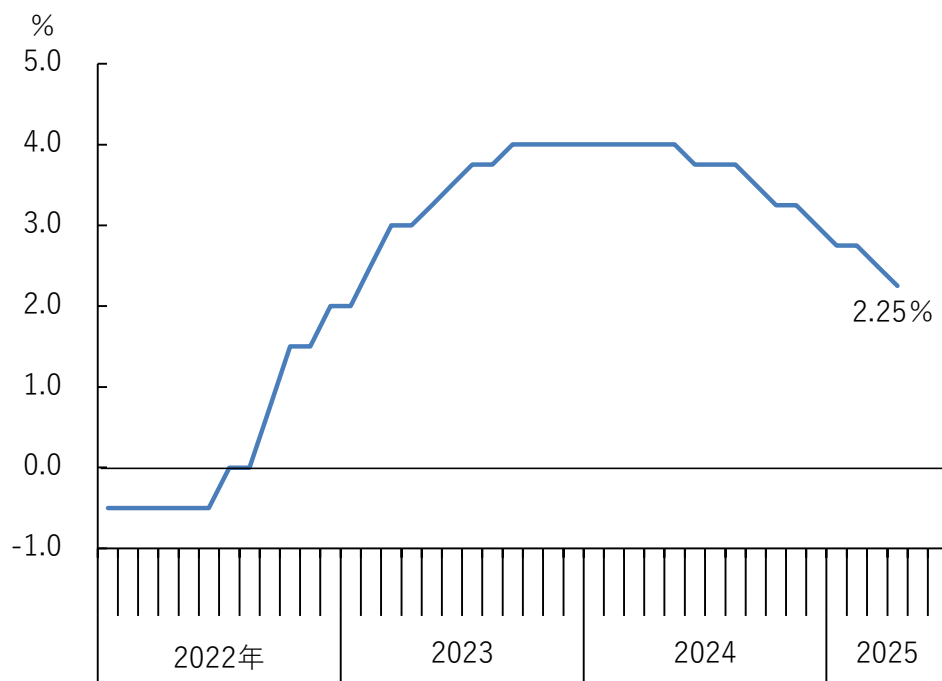


出所：S&P グローバル

ECBが4月に6会合連続で  
0.25%の追加利下げを決定

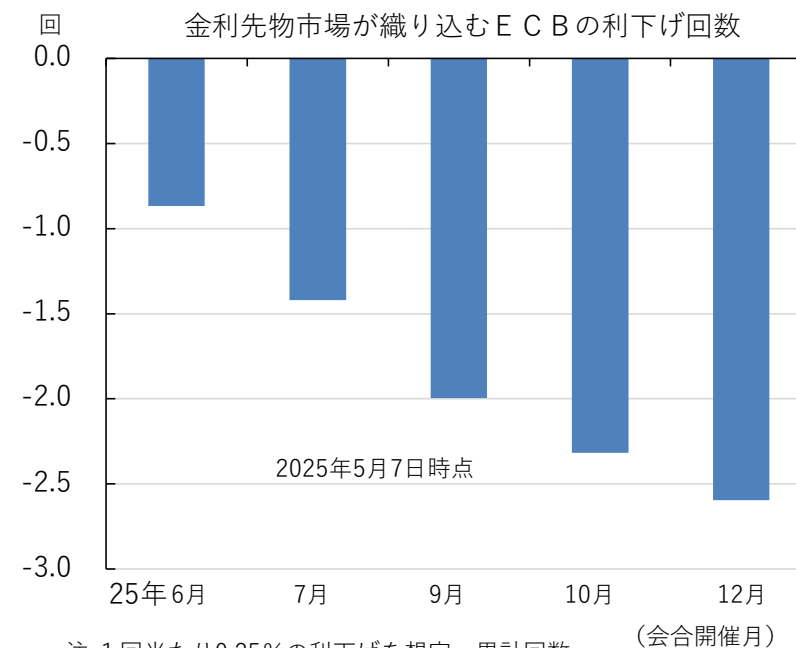
- 4月17日、欧州中央銀行（ECB）は政策理事会を開き、主要政策金利の中銀預金金利を2.5%から2.25%に引き下げることを決めた。利下げは昨年9月から6会合連続で、今回の利下げ局面では7回目（合計の利下げ幅は1.75%）となった。
- ー ラガルドECB総裁は記者会見で、世界的な貿易摩擦について「経済成長の下振れリスクが高まった」と述べた。また「貿易摩擦の激化が輸出を抑え、投資や個人消費の重荷になる」とも指摘し、警戒感を示した。
- ー ラガルド総裁の発言や直近の経済指標などを受けて、金利先物市場では次回6月の理事会での0.25%の利下げを8割程度の確率で織り込んでいる。

欧州中央銀行の政策金利（中銀預金金利）



出所：欧州中央銀行

金融市場の利下げ予想



注: 1 回当たり0.25%の利下げを想定。累計回数。  
なお利下げ回数のため、マイナス表記にしている。

出所：Bloomberg



横浜銀行グループ

## 浜銀総合研究所



調査部 特任研究員  
北田 英治

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 [https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry\\_repo.html?nno=5](https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5)